

1. 科目名(単位数)	教育心理学(初等・小) (2単位)	3. 科目番号	EDTE2105
2. 授業担当教員	成本 忠正		
4. 授業形態	講義、演習、グループディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	教育心理学とは子どもを教育していく上で必要となる人間科学の知識を提示し、子どもの成長を促すためのより良い教育とは何かを心理学的視点から解説する学問である。教育心理学の基礎とされる発達、学習、人格、測定・評価の4つの領域について基礎知識を深め、今日の教育の現場が必要としている問題解決のための諸要因を解説する。本講義では、以上のような基礎的知識の習得に加え、事例に則り、それらの知識をいかに教育の実践に役立てていくのか検討する。併せて、現実の教育現場で起きている諸問題に対する支援の在り方についても考察する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育学と心理学の深い関係を理解し、説明できるようになる。</li> <li>2. 教育場面において生じる問題及びその背景について指摘できるようになる。</li> <li>3. 子どもの発達と学習能力を高めるさまざまな要因について理解できるようになる。</li> <li>4. 教育の目的から考える学校生活のあり方：理論と実践の違いを理解し、説明できるようになる。</li> <li>5. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について考察できるようになる。</li> </ol>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2~3の学習テーマごとに確認テスト(30分程度)を実施する。</li> <li>2. 学習内容に関する論述課題を数回実施する。</li> <li>3. 授業で紹介された教育心理学研究で得られた知見についてレポートを作成する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工藤俊郎・高井直美・上田恵津子・菅原康二『基礎から学ぶ教育心理学』八千代出版、2020。</li> <li>2. 適宜、関連テーマの資料を配布する。</li> </ol>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育心理学の基本的な知識を理解し、説明できるか。</li> <li>2. 教育心理学の知識を教育の場で応用し、活用する力がついたか。</li> </ol> ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への参加態度 総合点の30%</li> <li>2. 試験(小テスト・期末テスト等) 総合点の40%</li> <li>3. 課題(レポート等) 総合点の30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育心理の考え方、視点を修得すると、人生のあらゆる場面においても応用可能と考えられます。それを修得するため、まず他の学習者との相互学習を通して、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時の無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。</li> <li>2. 初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初日の授業に出席してください。</li> <li>3. 受講生の理解度や要望によりシラバス内容を調整する場合があります。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	1. ガイダンス 2. 教育心理学とは何か?	事前学習	シラバスを確認し、授業準備をする。
		事後学習	教育心理学の意義について理解する。
第2回	発達の基礎概念について理解する	事前学習	【発達の基礎概念】を読み、人の発達特徴を理解する。
		事後学習	発達に影響を与える要因について復習する。
第3回	発達段階モデルについて理解する	事前学習	【発達段階理論】を読み、各モデルの特徴を理解する
		事後学習	認知・社会性・道徳モデルの特徴について復習する。
第4回	発達研究の知見を学習する	事前学習	【一般的発達区分】を読み、研究成果を理解する。
		事後学習	知性・社会性に関する知見について復習する。
第5回	学習理論(古典的条件づけ)を理解する	事前学習	【学習の理論】を読み、学習のメカニズムを理解する。
		事後学習	教育現場における応用について復習する。
第6回	学習理論(オペラント条件づけ)を理解する	事前学習	【学習の理論】を読み、学習のメカニズムを理解する。
		事後学習	教育現場における応用について復習する。
第7回	達成動機について理解する	事前学習	【動機づけ】を読み、社会的動機づけを理解する。
		事後学習	社会的動機づけの種類と特性を復習する。
第8回	学習意欲について理解する	事前学習	【学習意欲】を読み、意欲に影響する要因を理解する。
		事後学習	教育場面における学習欲求について復習する。
第9回	論述課題の実施①	事前学習	課題への準備をしておくこと。

		事後学習	これまでの授業内容を振り返り、復習する。
第10回	教科学習について理解する	事前学習	【学習の形態】を読み、その種類を理解する。
		事後学習	指導・学習の効果的な方法について復習する。
第11回	教育評価について理解する	事前学習	【評価】を読み、各評価方法の特徴を理解する。
		事後学習	各評価方法の種類および長所・短所について復習する。
第12回	社会との関係について理解する	事前学習	【資料】を読み、集団について理解する。
		事後学習	集団の役割について復習する。
第13回	学校不適應について理解する	事前学習	【不適應行動】を読み、その原因を理解する。
		事後学習	主に心的・器質的要因について復習する。
第14回	発達障害について理解する	事前学習	【資料】を読み、発達障害の特徴を理解する。
		事後学習	特に、LD・ADHD・ASDの特徴を復習する。
第15回	論述課題の実施	事前学習	課題への準備をしておくこと。
		事後学習	これまでの授業内容を振り返り、復習する。